

九州女子大学附属 折尾幼稚園 令和5年度 学校評価 (3.0以上 A 2.0~2.9 B 1.9以下 C)

重点的に 取り組む目標	評価項目	評価指標及び評価結果					総括 評価	コメント 評価結果に関する 説明・意見等	
		基 準	取り組み指標	取組 結果	基 準	成果指標			成果 評価
(幼児の健康な身体づくり) 伸び伸びと育ち合う子ども	幼児の年齢や発達に応じた関わりの中で、遊びを通して学び、生きる力の基礎を育む保育の展開。	4	友達同士の関わりを見守ったり、必要に応じて援助したりする。	3,3	4	自分達で遊びを考えながらルールやきまりを守って遊ぶ。	3,3	A	ルールのある遊び・繰り返し遊ぶことにより、きまりを守る事の大切さを学び、順番に並ぶことや物の貸し借りが出来るようになってきた。また、役を交代しながら遊ぶすがたもみられるようになった。
		3	「遊び」にはルールがあることを知らせ、自分達できまりを考えながら遊ぶ。		3	保育者や友達と一緒にルールのある遊びを楽しむ。			
		2	戸外で一緒に遊ぶことで楽しさを伝える。		2	保育者や友達と一緒に戸外で好きな遊びを見つけて楽しむ。			
		1	積極的に戸外遊びに誘い興味関心を持たせる。		1	戸外に出て友達や異年齢児の活動の様子を見て興味関心を持つ。			
育 子どもの人権を尊重する保	幼児を主体に、一人ひとりの育ちや家庭環境の考慮、丁寧な関わりを持ち、保育や成長を仲間と共に語り合う。	4	子どもの良い所を知らせる機会を設け、子ども達の自己肯定感を高める。	3,1	4	自分や相手のことを大切にする。	3,1	A	友だちが困っていたり、泣いていたりとすると、保育者に知らせたり、その子の気持ちを考えて声をかけていた。これからは、自分や相手の事を大切にすることができるようになるために、どのような工夫や援助が必要か考え、職員間で話し合って職員一丸となって進めていきたい。
		3	子ども達の話や思いを傾聴し、友達との関わりを深めるための援助をする。		3	自分の気持ちや相手の気持ちに気付き、発言したり、受け入れたりする。			
		2	子どもの気持ちに寄り添い、共感したり認めたりしながら信頼関係を築く。		2	いろいろなことを経験し、興味や関心を持つ。			
		1	子どもや保護者とコミュニケーションをとる。		1	安心して幼稚園に通う。			
安全で安心な園づくり	幼児の安全対応力を高め、生命の安全教育に取り組む。	4	安全に遊んでいる様子を見守りながら、必要に応じて援助をする。	3,3	4	自分たちで必要な道具や物を準備し、怪我をしないように遊ぶことができる。	3,4	A	初めて使うものは丁寧に使い方を伝えている。自分で必要な物を準備したり、使った道具を元あった場所に片付けるようになった。活動などでの保育者との「お約束」を守る姿もみられた。また、避難・地震訓練により、自分の身を守る大切さも実感していた。
		3	保育者や友達と一緒に遊ぶ中で、約束やルールを決める。		3	安全に気を付けながら日常生活に道具を取り入れて遊べるようになる。			
		2	道具の正しい使い方や安全な過ごし方について知らせる。		2	好きな遊びをする中で玩具や道具の使い方を知る。			
		1	子ども達の生活する環境を整える。		1	幼稚園の道具や玩具に興味を持つ。			

## 学校関係者評価委員会の評価

- 説明を聞いていて、遊びの大切さやその中でルールを学んでいくという事、時間はかかるかもしれないが、子どもの気持ちがどこにあるのかなど、大事なところに取り組みられていると感じた。
- 家庭ではできない、様々な「はじめて」の経験をさせてもらっている。
- 評価基準を設けて保育してくださっていることが、よくわかった。
- 生きる力として、公共のルールを学んだり、歩道の歩き方・買い物へ行った時の市場の方々とのコミュニケーションなど、人に対しての非認知能力や必要な力を園で育てていただいている。これからも、地域への参加で身体も心も育み続けていって欲しい。
- 子どもの人権や権利は、想像しにくいですが、相手をひとりの人として、尊重して相手の思いを知ろうとし、大切にすることから、気持ちを汲み取って大切にされていことを、これからも感じていって欲しい。
- 危機管理は、火災・地震そして不審者侵入のこと、また昨日ニュースになっていた、うずらの卵の件も含め、「食」という安全性を高めていかなければならないので、これからも安全安心な取り組みを頑張っていってほしい。